

平成25年度 主要事業の実施結果について

1. 妊産婦・新生児訪問指導	1
2. こんにちは赤ちゃん事業	1
3. プレおや教室	2
4. 4か月児健康診査	3
5. 10か月児健康診査	4
6. 1歳6か月児健康診査	4
7. 3歳児健康診査	5
8. 歯科健康診査	6
9. アレルギー関連事業（健康診査・健康相談・教育・機能訓練）	7
10. 妊婦健康診査費助成事業	8
11. 未熟児養育医療	9
12. 5歳児発達相談（モデル事業）	9
13. 成人・各種がん検診・歯周病疾患予防事業	10
14. げんき度健診	13
15. 骨粗しょう症検診	14
16. 兵庫県・芦屋市健康大学講座	14
17. 特定健康診査後の階層化に基づく特定保健指導	15
18. 健康講座	16
19. あしや保健福祉フェア	17

1 妊産婦, 新生児・未熟児, 乳幼児訪問指導

妊産婦及び新生児・未熟児, 乳幼児に対して, 保健師・訪問指導印による家庭訪問を行う。
 新生児の体重測定・母乳相談・育児相談等を行い, 母親にとって安心して出産・育児に望めるよう支援しています。

- 対 象：① 新生児で出生連絡票の返送者及びハイリスク妊婦
 ② 未熟児養育支援ネットからのハイリスク児
 ③ 乳幼児健康診査受診後の要経過観察と判定した子ども
 ④ コアクラブ参加者で, 訪問指導が必要な子ども

実施時期：通年

周知方法：広報あしや, 母子健康手帳交付時

根 拠：母子保健法

事業開始：平成9年度

実施状況

<単位：人>

年 度	訪問 総数 (延べ)	妊 婦	産 婦	乳 児				幼 児	そ の 他 母 子	長 期 療 養 児	心 身 障 害 児	虐 待 (再 掲)
				未 熟 児	新 生 児	乳 児	計					
25年度	714	3	79	19	11	116	146	199	218	2	67	2
24年度	609	8	72	23	19	121	163	134	190	0	42	1
23年度	1031	0	197	11	59	406	476	187	168	0	3	0

2 こんにちは赤ちゃん事業

4か月までの乳児のいる全ての家庭に対し, 保健師, 助産師, 看護師等による家庭訪問を実施し, 子育てに関する不安や悩みの聴取及び相談, 子育てに関する情報提供及び乳児の身体計測等して, 支援の必要な家庭に対しては, 適切なサービスに結びつけることにより, 子どもの健やかな育成を図ることを目的に実施している。

対 象：生後4か月までの乳児のいる家庭

根 拠：次世代育成支援対策推進法（児童虐待防止対策として平成19年4月1日創設）

事業開始：平成20年6月

<単位：戸>

年 度	健康課				芦屋健康福祉事務所	
	こ ん に ち は 赤 ち ゃ ん 訪 問	母 乳 相 談	育 児 相 談	そ の 他	未 熟 児 訪 問	把 握 率 (%)
25年度	759	0	0	0	1	759(96.8)
24年度	731	0	0	0	6	737(96.3)
23年度	741	0	1	0	26	768(99.0)

3 プレおや教室

平成20年度よりプレ親教室は、父親の育児参加を促進するため平日開催から、土曜日開催に変更し、『沐浴教室』『パパママ教室』として実施している。

- 対 象：① 市内在住，在勤の妊婦及びその夫
 ② 市内在住，在勤の妊婦（妊娠24週以降）・産婦（産後5か月未満）
 及びその夫
- 実施日時：① 奇数月第3土曜日（AM）
 ② 偶数月第3土曜日（AM）
- 会 場：保健センター
- 内 容：① 沐浴教室：赤ちゃんのお風呂の入れ方・出産準備・父親の役割について
 ② パパママ教室：母乳育児・安産のためのマッサージと体操・親子タッチケア
- 周知方法：広報あしや，母子健康手帳交付時
- 事業開始：平成3年度(母親教室より移行)

① 沐浴教室 参加者

<単位：人>

年 度	実施回数	参 加 延人員	実参加組 数	内 訳		
				夫婦参加	妻のみ参加	夫のみ参加
25年度	6	221	113	113	5	0
24年度	6	192	98	94	4	0
23年度	6	189	98	91	7	0

② パパママ教室 参加者

<単位：人>

年 度	実施 回数	参 加 延人員	実参加組 数	参 加 人 員				
				プレ親		パパママ		
				妊婦	夫	ママ	パパ	乳児
25年度	6	188	90	80	76	10	10	12
24年度	6	209	98	80	76	18	16	19
23年度	6	193	89	64	56	25	21	27

マタニティ&クッキング

平成22年度実施の、妊娠・分娩経過にかかわる知識を高めることを目的とする『Let's・エンジョイ・マタニティ』と妊娠期の食育推進を目的とする『マタニティ Good バランスクッキング』を平成23年度は『マタニティ&クッキング』として同時開催しました。平成25年度は6回開催のうち3回を平日開催，残り3回を参加者と食育推進を拡充する目的で夫婦対象の土曜日開催としました。

- 対 象：市内在住，在勤の妊婦
- 実施日時：偶数月 第1，3水曜日
- 会 場：保健センター・福祉センター調理・実習室
- 内 容：(平日開催)

- 1回目：①安産のために妊娠中にできる事（講話，グループワーク）＜助産師＞
 ②妊娠中のバランスのとれた食事について（講話，グループワーク）

＜管理栄養士＞

- 2回目：①妊娠中の栄養を考えた簡単メニュー（調理実習）

＜栄養士＞

- ②妊娠中の口腔ケアについて（講話，ブラッシング指導）＜歯科衛生士＞

（土曜日開催）

- ①安産のために妊娠中にできる事（講話，実技等）＜保健師＞

- ②バランスのとれた適量の食事と食から考える家族の健康（講話）＜管理栄養士＞

- ③簡単ヘルシーバランス食（調理実習）＜栄養士＞

周知方法：広報あしや，母子健康手帳交付時に案内，リーフレット配布，市内産婦人科にポスター掲示

事業開始：平成23年度

根 拠：母子保健法，食育基本法

＜単位：人＞

年 度	実施回数	参 加 延人員	実参加組 数	内訳		
				夫婦参加	妻のみ参加	夫のみ参加
25年度	8	48	30	36	12	0

年度	実施回数	参 加 延人員	参 加 実人員	参加人員	
				1日目（講話）	2日目（調理実習）
24年度	12	96	54	50	46
23年度	12	92	50	47	45

*25年度は2回連続の平日開催と，夫婦対象の土曜日開催を実施

4 4か月児健康診査

乳児の発達の節目である4か月時点において，疾病や発達障害等の早期発見と育児相談，離乳食指導を行っている。

4か月児健診時にアレルギー健診の一次問診を合わせて行い，問診事項と主訴から二次問診の対象者を把握している。4か月児健康診査時に発達・発育に経過観察を必要とする児は，1か月後の4か月児健康診査日に再来所，からだの相談（小児科医師）を勧め，生後5か月時点で診察・観察を行い，再度確認している。

平成22年9月より，図書ボランティアの協力を得て，ブックスタート事業を開始している。

対 象：市内在住の4か月児

実施時期：毎月第2，4火曜日

場 所：保健センター

内 容：①身体計測 ②問診 ③小児科診察 ④集団指導（離乳食，予防接種）
 ⑤ブックスタート ⑤育児相談

周知方法：個別通知，広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：平成9年度

<単位：人>

区分 年度	対象 人員	実施 回数	受診人員 (受診率%)	内 訳				
				異常 なし	既 医療	要 観察	要 医療	要 精密
25年度	732	23	692(94.5)	436	184	46	16	10
24年度	790	24	744(94.2)	482	183	51	19	9
23年度	810	24	780(96.3)	512	189	41	9	29

5 10か月児健康診査

対 象：市内在住の10か月児

実施時期：通年

会 場：市内委託医療機関

内 容：①身体計測 ②問診 ③小児科診察 ④育児相談

周知方法：個別通知，広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：平成16年度

<単位：人>

年 度	対 象 人 員	受 診 人 員	受診率(%)	受 診 結 果					相 談 希 望
				異常 なし	要 観察	要 医療	既 医療	要 精密	
25年度	660	603	91.4	426	129	2	38	8	52
24年度	816	746	91.4	545	125	4	62	10	51
23年度	868	786	90.6	617	95	3	64	7	70

*25年度は1月末まで

*健診時に保健師等の相談を希望する母親については、受託医療機関からの連絡を受けて育児相談を実施する体制をとっています。

6 1歳6か月児健康診査

対 象：市内在住の1歳6か月児

実施時期：毎月第2，4木曜日

場 所：保健センター

内 容：①身体計測 ②問診 ③歯科診察 ④小児科診察 ⑤育児(心理)相談
⑥集団指導(栄養・歯科)

周知方法：個別通知，広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：昭和54年度

<単位：人>

年度	対象人員	実施回数	受診人数 (受診率%)	一 般 健 康 診 査									
				異常なし	異常あり	内 訳							
						要観察		要医療		既医療		要精密	
						身体	精神	身体	精神	身体	精神	身体	精神
25	752	21	693 (92.2)	415	278	22	130	1	0	147	0	0	0
24	845	20	805 (95.3)	471	334	23	160	2	0	177	5	9	0
23	875	22	833 (95.2)	508	325	33	138	5	0	161	2	17	0

7 3歳児健康診査

幼児の発達節目である3歳児を対象に、疾病や発達障害等の早期発見と育児相談を行っている。身体的な異常を発見するため小児科・歯科・耳鼻科・眼科の診察を行い、また乳幼児期最後の健診であることから育児相談、栄養相談・栄養指導、歯科衛生指導等、充実した内容の健康診査を行っている。また、待合時間を利用して保育士による遊びの場も設けている。

対 象：市内在住の3歳児

実施時期：毎月第1・3木曜日

場 所：保健センター

内 容：①尿検査 ②問診 ③身体計測 ④小児科診察 ⑤歯科診察 ⑥育児(心理)相談
⑦集団指導(栄養・歯科) ⑧耳鼻科健診(隔月) ⑨眼科健診(委託)

周知方法：個別通知、広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：平成9年度

(1) 一般健康診査受診結果

<単位：人>

年度	対象人員	実施回数	受診人員 (受診率%)	一 般 健 康 診 査									
				異常なし	異常あり	内 訳							
						要観察		要医療		既医療		要精密	
						身体	精神	身体	精神	身体	精神	身体	精神
25年度	830	19	762 (91.8)	530	229	6	67	6	0	119	10	31	0
24年度	869	22	817 (94.0)	559	258	6	84	6	0	164	7	10	0
23年度	914	22	846 (92.6)	609	237	7	73	0	0	155	10	4	0

(2) 視覚健診結果

<単位：人>

年度	1次健診受診人員	実施回数	2次健診対象人員	2次健診受診人員	視 覚 健 診 受 診 結 果									
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密	内 訳				
										受診勧奨	受診人員	異常なし	要観察	要医療
25年度	762		81	62	19	0	39	1	3	3	3	0	0	3
24年度	817		82	71	22	0	41	5	3	3	2	0	0	2
23年度	846		71	63	17	0	33	4	9	9	3	0	0	3

④ 聴覚健診

<単位：人>

年度	1次健診受診人員	実施回数	2次健診対象人員	2次健診受診人員	聴覚健診受診結果									
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密	内訳				
										受診勸奨	受診人員	異常なし	要観察	要医療
25年度	762	5	51	47	20	1	6	20	0	0	0	0	0	0
24年度	817	6	65	55	35	0	0	20	0	0	0	0	0	0
23年度	846	5	53	38	25	0	7	6	0	0	0	0	0	0

* 25年度は1月末まで

8 歯科健康診査

(1) 1歳6か月児

<単位：人>

年度	歯科健康診査													
	受診人員	受診結果						う歯数		間食時間を決めて いる者	清掃不良のある者	軟組織異常	不正咬合	その他
		O1型	O2型	A型	B型	C型	合計	未処置歯	処置歯					
25年度	693	686	1	5	1	0	693	16	10	459	31	24	10	1
24年度	805	799	2	4	0	0	805	12	0	525	50	39	21	1
23年度	833	823	2	8	0	0	833	27	10	553	48	33	31	1

* 25年度は2月末まで

(2) 3歳児

<単位：人>

年度	歯科健康診査																			
	受診人員	受診結果						う歯の数			不正咬合				軟組織異常			清掃不良のある者	その他異常のある者	
		A型	B型	c1型	c2型	不詳	合計	処置歯	未処置歯	合計	反対咬合	開咬	その他	合計	小帯	歯肉	その他			合計
25	762	64	12	1	2	0	79	38	215	253	17	22	1	40	19	14	0	33	11	32
24	817	51	21	0	1	0	73	50	222	272	52	13	0	65	12	2	1	15	107	27
23	846	82	16	2	4	0	104	93	324	417	35	26	5	66	14	1	0	15	49	38

* 25年度は2月末まで

9 アレルギー関連事業

(1)アレルギー健康診査

4か月児健診、1歳6か月児健診の受診者から、問診票と主訴により、アレルギー健診の対象者を把握する。

健診は、問診票とともにアレルギー専門医の診察を行い、必要に応じて個別の栄養指導・保健指導を実施する。また、経過観察が必要な場合にはアレルギー相談を勧奨している。

対 象：市内在住の0～6歳未満児とその保護者
 会 場：保健センター
 内 容：①4か月児・1歳6か月児健診の受診者に問診票を送付
 ②アレルギー健診対象者に二次問診票を送付
 ③身体計測 ④専門医の診察 ⑤栄養指導、保健指導

周知方法：対象者に対する個別通知

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成9年度

<単位：人>

年度	4か月児健診			1歳6か月児健診			対象者合計	対象人員	受診人員	受診結果		
	送付数	回収数	対象者数	送付数	回収数	対象者数				異常なし	要観察	既医療
25	732	691	215	752	691	173	388	123	72	42	2	28
24	789	744	194	844	805	200	394	111	67	25	4	38
23	810	780	256	875	833	179	427	152	90	36	4	50

*25年度は2月末まで

(2)アレルギー相談

対 象：市内在住の0～6歳未満児とその保護者

会 場：保健センター

実施時期：毎月 第1月曜日

内 容：①身体計測
 ②アレルギー全般についての相談
 ③卵、牛乳、小麦を除去した献立と相談
 ④アレルギーを予防する離乳食の指導と相談
 ⑤アレルギーのあるこどもの育児相談

周知方法：広報あしや、アレルギー健診時に案内

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成元年度

<単位：人>

年 度	実施回数	受診実人数	延受診人数
25年度	11	9	9
24年度	12	17	26
23年度	12	24	47

(3)アレルギー教室

対 象：市内在住の0～6歳未満児とその保護者・全市民

会 場：保健センター

実施時期：年間 5回

内 容：①専門医による講演「アレルギーについての基礎知識と対応について」

②専門医による講演「慢性呼吸器疾患の最新情報について」

理学療法士による実習

③専門医による講演「小児喘息の予防と治療」

④講演「ぜん息を予防する日常生活の環境整備について」(ダニ採取結果から)

⑤専門医による講演「花粉注意報—今年の傾向と対策—」

周知方法：広報あしや、アレルギー健診時に案内、新聞折込、個別通知

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成元年度

<単位：人>

年 度	実 施 回 数	参 加 者 数	内 訳		
			親	子	成人
25年度	5	159	65	62	32
24年度	5	164	71	71	22
23年度	5	131	64	55	12

(4)機能訓練事業—めだか水泳教室

対 象：喘息又は、喘息様気管支炎の診断があり、おおむね軽度の年中・年長児

実施期間：①平成25年5月～8月(計13回) ②平成25年9月～12月(計13回)

会 場：保健福祉センター水浴訓練室(指導：シンコースポーツ)

周知方法：広報あしや、個別通知

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成11年度

<単位：人>

年 度	応募人数	決定者数	参加実人数	参加延人数	参加率(%)
25年度	17	16	14	146	80.2
	22	16	16	172	82.6
24年度	14	14	14	142	78.0
	29	16	16	172	82.7
23年度	31	16	16	173	83.2
	41	16	16	173	83.2

10 妊婦健康診査費助成事業

対 象：市内に居住する妊婦(所得制限なし)

助 成 費：健診1回あたり5000円を上限に最大14回まで助成(平成25年度～受診券方式)

健診機関：兵庫県内・県外の産科医療機関, 助産所

事業開始：平成18年7月

〈単位：人〉

年 度	受診券利用人数	償還払い人数
25年度	583	577
24年度	—	803
23年度	—	855

*25年度は1月末まで。平成25年度の受診券利用者と償還払い者は重複している場合があります。

11 未熟児養育医療

対 象：市内に住所を有する乳児で早産等により出生体重が 2,000 g 以下または生活力が特に弱く、医師が未熟児として指定医療機関での入院養育が必要と認めたかた。（ただし審査があります）

助 成 費：入院費用のうち保険診療にかかる自己負担額及び食事療養費について、出生から最長で生後1年以内まで市が負担します。退院後の医療費は対象となりません。（指定医療機関への転院を除く）

事業開始：平成25年度

年 度	25年度
認定者数	13人(男：9 女：4)

12 5歳児発達相談(モデル事業)

平成25年度、5歳児発達相談事業を兵庫県のモデル事業として実施。対象児に子育て相談票を送付し、5歳児の現状について把握するとともに、発達相談を希望するものに対しては、精神科医師、臨床心理士の個別相談を実施。

対 象：市内在住の平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの児と保護者

- 内 容：①対象児に案内と子育て相談票を送付
 ②対象児から子育て相談票を回収
 ③相談希望者へ連絡
 ④必要である児と保護者に対して発達相談を実施

〈単位：人〉

対象児数	回収数 (率)	5歳児 発達相 談希望 児数 (率)	相談実 施児数 (率)	相談結果				
				支援不要 児数 (率)	要フォロー			
					支援 継続児 数 率 (%)	内訳		
						経過 観察児 数 率 (%)	要医療 療育児 数 率 (%)	既医療 療育児 数 率 (%)
870	665	65	30	5	25	21	4	0
	76.4%	7.5%	3.4%	0.6%	2.9%	2.4%	0.5%	0.0%

13 成人・各種がん検診・歯周病疾患予防事業

(1) 健康チェック

対 象：30歳以上の市内在住・在勤者（予約制）

実施時期：通年 34回

会 場：保健センター

内 容：①胸部X線 ②検尿 ③血圧 ④身体計測 ⑤問診 ⑥診察 ⑦血液検査
⑧心電図 ⑨胃がん検診 ⑩大腸がん検診 ⑪肝がん検診 ⑫眼底検査
⑬前立腺がん検診（50歳以上男性希望者、別途費用1,000円）

血液検査項目：GOT・GPT・γ-GTP・ALP・LDH・コリンエステラーゼ・総蛋白・アルブミン・A/G・血糖・HbA1c・

尿素窒素・尿酸・クレアチン・アミラーゼ・総ビリルビン・直接ビリルビン・中性脂肪・HDLコレステロール・

LDLコレステロール・HBs抗原・HCV抗体・血清鉄・AFP

周知方法：広報あしや

根 拠：高齢者医療確保に関する法律，健康増進法

事業開始：昭和56年度

費 用：9,000円

<単位：人>

年 度	受診者数	指導区分別実人員			
		異常なし	要指導	要医療	要精密
25年度	382	20	111	189	62
24年度	446	15	157	214	60
23年度	434	13	133	227	61

(2) 特定健康診査

健診項目：（基本項目）対象者すべてのものに実施する。

診察・身体計測（身長・体重・腹囲）・血圧測定・尿検査・血液検査（肝機能（AST・ALT・γ-GT）・脂質（LDL-コレステロール・HDL-コレステロール・中性脂肪）・糖代謝（空腹時血糖・HbA1c）・腎機能（尿酸・クレアチニン））

（詳細項目）詳細項目対象者に該当するものに実施する。

心電図検査，眼底検査，貧血

対 象：40歳～75歳の市民（国保加入者）

実施時期：平成25年5月10日（金）～12月14日（土）

実施場所：保健センター等，市内49委託医療機関

周知方法：広報あしや，受診券にて個別通知

根 拠：高齢者の医療の確保に関する法律（健診は医療保険者に義務付けられた）

事業開始：平成20年度

費 用：無料

<単位：人>

年 度	特定健診 対象者	特定健診 受診者	受診率 (%)	メタボリックシンドローム判定		
				該当	予備軍	非該当
25年度	17,380	6,373	36.7	765(12.0%)	633(9.9%)	4,975(78.1%)
24年度	17,341	6,427	37.1	737(11.5%)	621(9.7%)	5,069(78.9%)
23年度	17,056	5,976	35.0	758(12.7%)	645(10.8%)	4,573(76.5%)

*25年度は人間ドックは11月末，個別・集団健診は12月末，健康チェックは2月末まで

注1) メタリックシフト判定と特定保健指導対象者判定は異なります。

注2) 対象者には芦屋市国民健康保険中途加入者健診数を含みます。

(3)後期高齢者医療健康診査

内 容：特定健康診査に準ずる

対 象：75歳以上の後期高齢者医療制度加入者

実施時期：平成25年5月10日（金）～12月14日（土）

実施場所：市内49委託医療機関

周知方法：広報あしや、受診券にて個別通知

根 拠：高齢者の医療の確保に関する法律

事業開始：平成20年度

費 用：基本健診 無料

<単位：人>

年 度	対象者数	受診者数	受診率 (%)	受診結果			眼底 検査
				健康 高齢者	経過観察 (要指導含む)	要医療 (治療中含む)	
25年度	11,835	3,517	29.7	45	450	3,022	44
24年度	10,640	3,461	32.5	43	492	2,926	41
23年度	10,453	3,191	30.5	37	438	2,717	39

(4)がん検診

内 容：結核・肺がん（必要な方喀痰）、大腸がん、前立腺がん、胃がん

対 象：40歳以上の市民及び健康チェック受診者

実施時期：個別：平成25年5月10日（金）～12月14日（土） 集団：通年

実施場所：市内49委託医療機関、保健センター

周知方法：広報あしや

根 拠：健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

事業開始：平成20年度

費 用：結核・肺がん検診（喀痰検査900円）、大腸がん検診800円

前立腺がん検診1,000円

胃がん検診2,500円 70歳以上免除（前立腺がん検診を除く）

<単位：人>

年度	肺がん検診			大腸がん検診			前立腺がん検診			胃がん検診		
	受診 者数	結果内訳		受診 者数	結果内訳		受診 者数	結果内訳		受診 者数	結果内訳	
		異常 なし	要精 密									
25年度	9,453	9,324	129	7,308	6,647	661	2,143	1,903	240	1,022	941	81
24年度	9,406	9,300	106	8,127	7,483	644	2,227	1,956	271	939	898	41
23年度	9,580	9,430	150	8,622	7,950	672	2,246	1,997	249	896	844	52

*25年度は1月末まで

(5)乳がん検診(マンモグラフィ併用)

対 象：40歳以上の市内在住の女性，H21より女性特有のがん検診（40, 45, 50, 55, 60歳）

実施期間：通年（2年に1回）

実施場所：市内委託医療機関（市立芦屋病院），集団検診

事業開始：平成17年度

費 用：女性特有のがん検診対象者は無料，その他は2000円

<単位：人>

年 度	対象者数	受診者数	受診率%	要精密者数
25年度	20,146	1,510	7.5	229
24年度	20,146	1,852	9.2	287
23年度	20,146	2,054	10.2	403

* 25年度は1月末まで

(6)乳がん検診(視触診)

対 象：30歳～40歳未満の市内在住の女性

実施期間：通年

実施場所：市内委託医療機関

事業開始：昭和50年度（平成20年度より対象者改正）

費 用：400円

<単位：人>

年 度	受診者数	要精密 検査者	結 果 別 人 員				
			異常なし	が ん	がん疑い	がん以外	未把握
25年度	36	2	0	0	0	1	1
24年度	54	1	1	0	0	0	0
23年度	126	5	0	0	0	3	2

* 25年度は1月末まで

(7)子宮がん(頸部)検診

対 象：20歳以上の市内在住の女性，H21より女性特有のがん検診（20, 25, 30, 35, 40歳）

実施期間：通年

実施場所：市内委託医療機関

事業開始：平成18年度

費 用：1000円

<単位：人>

年 度	対象者数	受診者数	受診率%	要精密者数
25年度	25,596	2,235	8.7	33
24年度	25,596	3,263	12.7	41
23年度	25,596	3,264	12.8	37

* 25年度は1月末まで

(8)アスベスト検診

対 象：市内在住者（問診時にアスベスト曝露歴がある旨を申告した者には健診カードを配布する。）

内 容：問診 胸部X線

会 場：保健センター

実施時期：毎月第2・4水曜日 午後1時～1時30分

<単位：人>

年 度	受診者数	要精密検査者	判定内訳		未把握
			異常なし	経過観察	
25年度	22	0	0	0	0
24年度	36	0	0	0	0
23年度	29	0	0	0	0

(9) 歯周病疾患予防

実施時期：毎月第1・3水曜日 午後1時～3時

会 場：芦屋市歯科センター

<単位：人>

年 度	区 分	健康教育	健康相談	歯科健診
25年度	総 数	210	210	210
	一 般40歳以上	87	87	87
	親 子40歳未満	123	123	123
24年度	総 数	371	371	371
	一 般40歳以上	192	192	192
	親 子40歳未満	179	179	179
23年度	総 数	299	299	299
	一 般40歳以上	81	81	81
	親 子40歳未満	218	218	218

14 げんき度健診

目 的：体力測定を行うことにより、少しでも自分自身の体力に興味を持ち再確認することで運動への関心を高め、生活の中で運動を習慣化できるようになることを目的とする。

61歳を迎える方に対して個別に案内し、参加することにより運動習慣への関心を高めるとともに、運動を取り入れることにより介護予防にもつながる。

対 象：20歳以上の市民

場 所：芦屋市保健福祉センター 1階 運動室

実 施 日：奇数月第4金曜日9：20～12：00 *7月27日(土)に休日版を開催

事業開始：平成18年度

<単位：人>

年 度	参加者内訳			合計	24年度	23年度
	20～39歳	40～64歳	65歳以上			
25年度	0	44	43	87	101	95

15 骨粗しょう症検診

特定保健指導は、内臓脂肪に着目し、その要因となる生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的に実施する。

階層化の基準

- ① 高血圧、糖尿病、高脂血症の治療中でない
- ② 肥満 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上 (1) BMI 25以上 (2)
- ③ 階層化リスク
 空腹時血糖 100mg/dℓ以上 HbA1c 5.6%以上
 脂質 中性脂肪150mg/dℓ以上 HDLコレステロール40mg/dℓ未満
 血圧 収縮期 130mmHg以上 拡張期 85mmHg以上
- ④ 喫煙 (①～③の基準に該当している場合のみカウントする)

保健指導区分

		リスク合計			該当なし
		3つ以上	2つ	1つ	
腹囲あり(1)	40～64歳	積極的支援		動機付け支援	情報提供
	65～75歳				
腹囲は該当しない がBMI25以上(2)	40～64歳	積極的支援			
	65～75歳			動機付け支援	
いずれにも該当しない					

(1) すらっと健康支援教室(動機付け支援)

実施時期：毎月

会 場：保健センター

事業開始：平成20年9月

周知方法：対象者には利用券を発行し、個別に教室案内を通知

内 容：保健師と管理栄養士による生活習慣改善のための集団指導を中心とした保健指導 ※ 教室に参加できない方のために個別対応も実施

<単位：人>

年 度	対象者	参加者	実施率(%)
25年度	412	84	20.4
24年度	638	75	11.8
23年度	300	90	30.0

(2)健康チャレンジ教室(積極的支援)

実施時期：毎月

会 場：保健センターおよび保健福祉センター運動室

周知方法：対象者には利用券を発行し、個別に教室案内を通知

内 容：保健師と管理栄養士による食事・運動・生活習慣見直しのための個別面接中心による保健指導 ※ 教室に参加できない方のために個別対応も実施

希望者はたのしい運動教室併用

<単位：人>

年 度	対象者	参加者	実施率(%)
25年度	113	14	12.4
24年度	163	20	12.3
23年度	95	19	20.0

18 健康講座

対 象：市内在住・在勤者（予約制）

実施時期：通年

会 場：保健センター

委託協力：芦屋市医師会

周知方法：広報あしや、チラシ

根 拠：健康増進法

事業開始：昭和59年度

<単位：人>

実 施 日	内 容	講 師	受講者
平成25年 11月28日	大腸がん予防の健康講座 講座「大腸がんの早期発見と予防」	長澤クリニック 院長 長澤 豊	31
平成26年 2月27日	乳がん予防の健康講座 ① 講座「私の乳癌の診断と治療」 ② 乳がんのセルフチェックと 芦屋市の乳がん検診について	まさい乳腺クリニック 院長 正井良和	12
参 加 者	23年度合計 46	24年度合計 38	25年度合計 43

19 あしや保健福祉フェア

日 時：平成25年7月25日（土）10：00～17：00
 場 所：はなみずき芦屋（保健福祉センター・木口記念会館・あしや温泉）
 主 催：あしや保健福祉フェア実行委員会・（財）木口ひょうご地域振興財団
 （福）芦屋市社会福祉協議会・（財）芦屋ハートフル福祉公社・芦屋市
 開始年度：平成22年度

あしや保健福祉フェア催し一覧（保健センター所管部分）全体述べ参加者数 1,800人
 <単位:人>

団体名	内容	H25年度 参加者数	H24年度 参加者数
県芦屋健康福祉事務所	禁煙支援・受動喫煙の防止に関する条例の普及啓発（リーフレットの配布，スマートフォンでの測定，ポスターの展示，のぼり設置，表示マークの展示）・うつ・自殺予防の啓発（ポスターの展示，リーフレットの配布，のぼり設置） 食中毒予防，薬物乱用防止，リーフレットの配布	44	80
芦屋市医師会	医師の健康相談 相談時間：10時～12時 13時～15時	18	10
芦屋市歯科医師会	歯科センターでの歯科相談と健診 歯みがき指導 相談時間：10時～12時 13時～15時	21	12
芦屋市薬剤師会	お薬の相談 ・ストレス度チェック	109	8
食育パートナーシップ事業	「野菜を食べよう！朝・昼・晩」展示，ゲーム等	425	259
芦屋栄養士会	栄養相談コーナー，料理レシピ配布， 中高年男性のための弁当レシピを使った料理展示	50	33
いずみ会	「野菜をたくさん食べよう」試食（大豆と野菜たっぷり ごはん・夏野菜のスープ・チーズホイールケーキ）	約400	約300
看護協会阪神南支部	血圧測定，身長測定，血管年齢測定 体組成測定と結果説明	175	142
国民健康保険団体連合会	足の裏測定	193	104
保健センター（健康課）	げんき度健診土曜日版，肺年齢測定	122	124
合 計		1,557	1,072